

1	スクール・ミッション	リベラルアーツを重視した教育課程、地域と連携した生徒の主体的な活動等のエビデンスに基づいた学校改革や特色ある教育活動を通じて、社会をより良くしようとする意志と崇高な理想をもったリーダーになり得る人材を育成します。				
	スクール・ポリシー	・アドミッション・ポリシー 自分自身の可能性を発見し、高い志をもって勉学に励む意思をもった生徒を募集 ・カリキュラム・ポリシー 深い教養の素地を培うリベラルアーツを重視した教育課程を編成 ・グラデュエーション・ポリシー 幅広い学びを通して、社会に貢献しようという志をもつ人材を育成				
2 中期的目標と方策	(1) 学校経営		(2) 学習指導・進路指導			
	ア 組織		イ 施設・設備	ア 学習指導等	イ 進路指導	
	(ア) 教育職員	(イ) 行政職員		各教科において探究活動の要素を取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現する。作問力を高め、定期考査や校内学力テスト問題等の精度向上を図るとともに、ICTを活用したより質の高い学習指導を実現する。男女枠撤廃を踏まえ入選業務における適正な業務を引き続き行う。	将来の進路決定のために深い学びと教養を身に付けさせる「進学指導」を実現する。また、エビデンスを踏まえた進路指導の一層の充実を図り、国公立大学進学の実績の更なる向上を図る。	
	進学実績の向上に資する深い学びにつながる学習指導を展開するとともに、全教員が一体となって学校経営上の課題解決に取り組む。また、服務事故ゼロを維持する。		適正な予算編成と執行などの財務管理及び安全な教育環境の維持・管理を徹底するとともに、学校経営を支える企画提案に取り組む。また、服務事故ゼロを維持する。	施設・設備の維持・管理と共に、その充実・改善を図る。特に教育活動のICT及び全館個別空調化の促進を図り、教育環境の一層の向上を目指す。	教員の専門性の向上と、国公立大学進学に対応した学習指導の展開を目指す。 ・一人1台端末の効果的な活用法の研究を継続 ・大学入試改革を踏まえた自校作成問題の継続、校内学力テスト、定期考査の改善及び目標値の設定（全てに新傾向の作問を導入） ・校内学力テストによる進路指導の実現 ・学習到達目標の明示と生徒に対する教員の期待の表明、観点別評価の着実な実施 ・管理職が指定した教員の授業見学、指導教諭による授業公開、特別講習等の継続 ・GE-NET EE（英語教育研究推進校後継事業）としての取組 ・オリパラレガシー教育の推進 ・不読率の低減 ・男女枠撤廃を踏まえた入学者選抜の適正実施 ・高大接続改革を踏まえた学習指導の充実	進路部の強いリーダーシップの下、3年間を踏まえた計画的な進路指導を行うとともに、生徒一人一人の実態を教職員全員で把握し、各教科等での適切な指導を継続する。 ・合格大学別の校内学力テスト・定期考査の分析 ・進路職員会議、ケース会議、進路研修会等を定期的に開催 ・進路指導には担当者だけでなく担任全員が主体的に関与、進路指導における面談力の向上 ・望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の実施（受験指導ではなく進学指導を校是とする）
(1) 教育目標と方策	教育課題の解決を目指し、全教職員が学校経営計画の具現化に取り組む。学校ポータルサイトにより保護者との情報共有の迅速化と電子起案（決定）率90%以上を目指す。 ・エビデンスを重視した学校経営の継続 ・自己申告に学校経営計画の具現化のための目標を設定 ・企画調整会議の質の向上 ・進学指導重点校としての探究学習の質の向上 ・校内研修、進路職員会議等による教育課題の共有化 ・学校ポータルサイトの活用により保護者との情報共有の一層の迅速化を図る ・ライフワークバランスの取組の推進 ・学校提案による都立高校の魅力向上プロジェクトを活用し、進学校としての充実を図る。		課題ごとに、管理職と一体となってPTを設置してその解決に当たる。学校ポータルサイトにより紙・印刷経費の10%削減と電子決定率95%以上を目指す。 ・学校経営計画の具現化に資する取組を展開（情報収集、レク資料の作成、企画・要望等に関する説明資料の作成） ・校長研修による若手職員の人材育成とOJT等による実務面での人材育成の推進 ・適正な予算編成・執行と財務管理の徹底 ・施設・設備の安全維持に要する業務の着実な推進 ・学校ポータルサイトの活用による紙・印刷経費の10%削減 ・PTA、外苑会（同窓会）との適切な関係の維持	施設・設備の安全確認・点検等を定期的に行い、改修改善を要する施設・設備については様々な機会を捉えて増改修要望を利用して学校経営支援センター又は営繕課と連携して教育環境の維持改善及び向上を図る。 ・生徒の安全と教育成果の拡大を図るために、教育庁関係部署並びに地域の関係団体や教育機関と連携し改修改善を推進する。 ・複数年度にわたる増改修の中期の計画を作成し、増改修計画に反映する。 ・安心安全な学校生活のための施設設備の改善充実及び衛生管理用品の確保 ・学校提案による都立高校の魅力向上プロジェクトを活用し、進学校としての充実を図る。	教員の専門性の向上と、国公立大学進学に対応した学習指導の展開を目指す。 ・一人1台端末の授業での活用法の研究を継続発展 ・学習のしおり（年間指導計画）の精度向上の継続及び観点別評価の着実な実施 ・授業での学習のねらいの明示、知識・技能を活用する場面の設定、話し合いや発表活動等による主体的な学びの実現 ・校内学力テストに記述式問題、初見の問題、新傾向の問題を盛り込むとともに、進路指導の決め手とできる水準までの精度向上を実現 ・校内学力テスト、外部模擬試験の結果分析のICT化と指導の充実改善 ・授業評価等の結果分析と、成果を挙げている取組等を教科学年で共有 ・教員の相互授業参観を年2回（6月、11月）実施 ・GTEC受験、Tokyo Global Gateway（英語村）の活用 ・学校図書館を活用した授業、「青山高校の100冊」を通じて、不読率を10%未満に低減 ・図書館の開館時間を経営補佐（月16日勤務の中で運用）の特別業務に位置付け、午後6時までとする。 ・休業期間中等の課題の分量は学年主任が教科と相談の上、適切に管理 ・ストリート装飾の展示継続	進路部の強いリーダーシップの下、3年間を踏まえた計画的な進路指導を行うとともに、生徒一人一人の実態を教職員全員で把握し、各教科等での適切な指導を継続する。 ・合格大学別の校内学力テスト・定期考査の分析 ・進路職員会議、ケース会議、進路研修会等を定期的に開催 ・進路指導には担当者だけでなく担任全員が主体的に関与、進路指導における面談力の向上 ・望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の実施（受験指導ではなく進学指導を校是とする）
	3 今年度の取組目標と方策	・企画調整会議での議論の活性化による学校経営の一層の充実・改善 ・学習指導、生活指導、特別活動等における生徒・保護者に係る情報の迅速な共有 ・進学実績向上に資する専門性の一層の向上 ・体罰や個人情報漏えい等の服務事故の防止 ・個々の生徒に応じた学習指導や相談の展開、生徒及び保護者との面談の実施 ・担当部署に関わらず、学校行事等の運営への積極的協力 ・学校ポータルサイト（Webアンケートを含む）の高度機能化と及び保護者との情報共有の一層の迅速化 ・日本オラル社及び他企業の企業や大学と連携した進学指導重点校としての探究学習の質の向上 ・適正な運用によるテレワーク（在宅勤務）の実施と管理によるライフワークバランスの実現		・進学実績の向上に資する学習環境整備等の企画提案など学校経営に参画 ・中長期的視点に立脚した自律経営推進予算の編成と効率的執行 ・積立金等の私費の適正かつ学校経営に則した執行管理 ・副校長等と連携した、校内施設・設備の安全点検と増改修推進のための支援センター、高等学校教育課との折衝 ・学校ポータルサイトによる保護者通知等の完全ペーパーレス化を実現 ・業者選定委員会、安全衛生委員会等を利用した業務改善 ・薬剤師と連携した学習環境のさらなる向上 ・適正な運用によるテレワーク（在宅勤務）の実施と管理によるライフワークバランスの実現 ・外苑会との連携の一層の強化、近隣諸団体等との連携の一層の推進	・全教室個別空調化に向けた実施計画の策定（造改修要望） ・グラウンドの人工芝生化と外構整備 ・自習室LED化工事 ・校費縮減に伴う校内予算の精選と重点支出の設定	・一人1台端末の授業での活用法の研究を継続発展 ・学習のしおり（年間指導計画）の精度向上の継続及び観点別評価の着実な実施 ・授業での学習のねらいの明示、知識・技能を活用する場面の設定、話し合いや発表活動等による主体的な学びの実現 ・校内学力テストに記述式問題、初見の問題、新傾向の問題を盛り込むとともに、進路指導の決め手とできる水準までの精度向上を実現 ・校内学力テスト、外部模擬試験の結果分析のICT化と指導の充実改善 ・授業評価等の結果分析と、成果を挙げている取組等を教科学年で共有 ・教員の相互授業参観を年2回（6月、11月）実施 ・GTEC受験、Tokyo Global Gateway（英語村）の活用 ・学校図書館を活用した授業、「青山高校の100冊」を通じて、不読率を10%未満に低減 ・図書館の開館時間を経営補佐（月16日勤務の中で運用）の特別業務に位置付け、午後6時までとする。 ・休業期間中等の課題の分量は学年主任が教科と相談の上、適切に管理 ・ストリート装飾の展示継続
(3) 数値目標	【令和7年度の振り返り】 ●7年連続で複数の国公立医学部医学科現役合格を達成 ●東大(5)、京大(1)、一橋大(12)、東京科学大(9) ●北海道大(9)、筑波大(6)、千葉大(8)、横浜国大(10)、東北大(5)、大阪大(5)など 卒業生総数に占める現役国公立合格者数の割合➡約4割 ●進路部の強いリーダーシップの下、進学指導を徹底。（担任を中心とする適正な面談指導の質の向上） 【令和8年度の数値動向一覧からの抜粋】 ●令和8年の数値目標ー難関国公立現役合格35名・東大(現役・既卒計)10名 卒業生総数に占める現役国公立大学の合格者数4割					

